



大学および近隣の風景写真(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

平成19年度の最後のレターになります。今年度も学外フェアや、研究紹介集の更新などにお世話になりました。メールマガジン読者も600人を超えました。



## 1. JSTイノベーション京都からの公募説明会を開催しました。

(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ京都主催の公募説明会を3月5日(水)に開催いたしました。昨年度に引き続いて、本学での開催は2回目となります。JSTイノベーション京都は、京都と奈良地区を担当いただいております、気軽に相談にのっていただける雰囲気があります。



説明会開始前写真

## 2. 研究紹介集2007-2008を発行しました。



皆様にご協力いただきました、「研究紹介集2007-2008」の冊子ができあがっています。研究紹介部分をご変更いただいた方には追ってお渡しいたします。

学外の方で入手をご希望されます方は、研究協力課(0742-20-3734)までご連絡ください。

(郵送料ご負担額：1冊210円、2冊-4冊290円)



## 3. 産学官連携ガイド2008を作成しました。

産学官連携ガイドは3つ折りのパンフレット形式となっています。各種研究締結様式の違いや、大学研究組織の名称や、地図など学外の方に簡単に概要を知っていただく内容となっています。また2008年度のカレンダーをつけていることで、ご利用いただきやすくなっています。



## 4. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。  
各種表彰などについては下記URLをご参照ください。  
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>  
また本学に募集のあった共同研究の公募については  
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>  
をご参照ください。

公募情報についてはリアルタイムに  
下記WEBにて随時公開中です。  
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

### (財)日本食生活文化財団 食生活文化に関する調査研究論文公募

【公募時期】平成20年4月15日(必着)  
【応募要件】食生活文化に関する調査研究で、未発表のもの  
【助成金額】20~30万円

### (独)科学技術振興機構

#### H20年度「先端計測分析技術・機器開発事業」開発課題募集

【公募時期】~平成20年4月10日  
【助成対象】A:要素技術プログラム  
計測分析機器の性能を飛躍的に向上させることが期待される新規性のある独創的な要素技術を開発  
B:機器開発プログラム  
産と学・官が連携した研究開発チームにより最先端の計測分析・機器を開発  
C:プロトタイプ実証・実用化プログラム  
産と学・官が連携した研究開発チームによりプロトタイプ機の性能を実用可能な段階まで仕上げる  
【問い合わせ】<http://www.jst.go.jp/>  
【助成金額】A:数百万~2千万円/年

### (独)科学技術振興機構

#### H20年度良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐしくみ)

応募される方は産学官連携コーディネーター(内線:3734)までご連絡ください

【公募時期】~平成20年4月30日(H20年第一次)  
【助成対象】大学等で生まれた研究成果であり、実用化に向けた評価分析を希望する研究課題  
【問い合わせ】<http://www.jst.go.jp/>

### (独)科学技術振興機構

#### 地域科学技術理解増進活動推進事業 H20年度「地域ネットワーク支援」募集

【公募時期】~平成20年4月25日  
【助成対象】自治体、大学等を核として、様々な活動主体が相互に連携し合う地域ネットワークの構築  
【助成金額】150~1500万円  
【問い合わせ】<http://www.jst.go.jp/>

### (社)日本化学工業協会 2008年度長期自主研究(LRI)公募

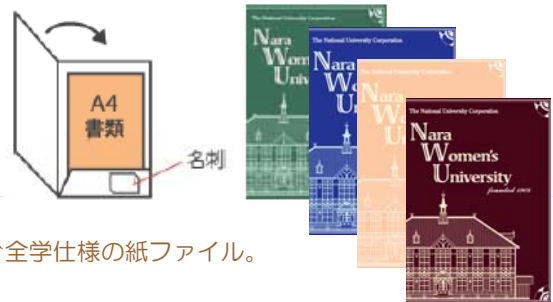
【公募時期】~平成20年5月7日  
【問い合わせ】<http://www.j-lri.org/>  
【助成対象】「内分泌かく乱作用」「神経毒性」「化学発がん」「免疫毒性(過敏症)」「リスク評価の精緻化」の分野とこれらの分野に共通した研究  
【助成金額】150~1500万円

### (財)村田学術振興財団 H20年度研究助成等候補者推薦

【公募時期】~平成20年4月18日(必着)  
【問い合わせ】<http://www.murata.co.jp/zaidan/>  
【助成対象】自然科学分野/エレクトロニクスに関する研究/人文・社会科学分野/国際化にともなう法律、経済、社会、文化等の諸問題に関する研究  
A:研究助成 B:研究会助成  
【助成金額】A:50~300万円 B:20~100万円

## 5. コーディネーター お勧めグッズいろいろ。

社会連携センターでは、研究紹介集のほかにもこのようなグッズを用意しております。必要に応じてご利用ください。



↑全学仕様の紙ファイル。



↑オリジナルノート



↑手提げ紙袋（学生からもお洒落と好評です）



←大学メールマガジンで紹介した写真が満載のPHOTO MESSAGE追加増刷しました。

## 6. 平成20年度を振り返って

平成20年度は、これまでの活動に加え、東京・有楽町の東京国際フォーラムにて9月12日(水)～14日(金)の日程でおこなわれました日本最大規模の産学マッチングイベント「イノベーションジャパン2007-大学見本市-」に参加しました。本学は大学発の最先端技術シーズ紹介の「ナノテク・材料」分野において大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻（矢野重信教授、小幡誠助教）より「色素を連結した感圧・感温塗料用ポリマー」の研究成果を展示しました。



また、三井住友銀行（頭取 奥正之氏）および南都銀行（頭取 西口廣宗氏）、りそな銀行（代表取締役社長 水田廣行氏）と産学連携について協定を締結しました。



平成21年度は一部メンバーがいれかわりますが、今年度同様にスタッフ一同楽しくやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。平成20年度のご協力に感謝をこめて、ありがとうございました。

産学官連携推進部門 スタッフ 城和貴（人間文化研究科） 相馬秀廣（文学部） 遊佐陽一（理学部） 今岡春樹（生活環境学部）  
鍛冶幹雄（社会連携センター） 藤野千代（社会連携センター） 吉田和男（研究協力課） 森田淳（研究協力課 研究協力係）  
境雅歳（研究協力課 研究協力係） 川村泰史（研究協力課 社会連携推進係）